

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年12月11日 (2014.12.11)

【公開番号】特開2013-92929(P2013-92929A)

【公開日】平成25年5月16日 (2013.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2013-024

【出願番号】特願2011-235065(P2011-235065)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/00 (2012.01)

G 0 1 W 1/10 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 5 0

G 0 1 W 1/10 M

G 0 1 W 1/10 K

A 6 1 B 5/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象地域に配置される複数の気象計測装置と、  
前記複数の気象計測装置の各々が計測した気象データを利用して、病気の発生を予測する病気予測装置と、を含み、  
前記病気予測装置は、  
前記気象データから気象を予測する気象予測部と、  
前記気象予測部の予測結果を、気象条件と病気との対応情報と照合して病気予測情報を生成する病気予測情報生成部と、を含む、病気予測システム。

【請求項 2】

請求項 1 において、  
前記病気予測情報には、病気が発生する危険度の情報が含まれる、病気予測システム。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、  
前記病気予測情報は、  
病気が発生する危険度と病気が発生するエリアとを対応付けた情報を含む、病気予測システム。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、  
前記複数の気象計測装置の各々は、気圧センサーを備え、  
前記気象予測部は、  
前記気圧センサーから取得した気圧データに基づく気圧変化の情報を利用して、気象を  
予測する、病気予測システム。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記気象予測部は、

前記気圧変化の情報を利用して所与の気象変動が発生するか否かを判定し、判定結果に基づいて気象を予測する、病気予測システム。

【請求項 6】

請求項 4 又は 5において、

前記気象予測部は、

前記気圧センサーから取得した気圧データに基づく気圧傾度の変化の情報を利用して、気象を予測する、病気予測システム。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれかにおいて、

前記病気予測情報生成部は、ユーザー毎に前記病気予測情報を生成する、病気予測システム。

【請求項 8】

請求項 7において、

前記病気予測装置は、

病気を発症する危険度が所定レベル以上のユーザーの情報端末に、前記病気予測情報を送信する、病気予測システム。

【請求項 9】

対象地域に配置される複数の気象計測装置の各々から気象データを取得する気象データ取得ステップと、

前記気象データを利用して、気象を予測する気象予測ステップと、

前記気象予測ステップでの予測結果を、気象条件と病気との対応情報と照合して病気予測情報を生成する病気予測情報生成ステップと、を含む、病気予測方法。